

条例制定

町へ本社機能の移転等を行う 事業者の課税免除等を規定

地方活力向上地域に
おける固定資産税の
課税免除及び不均一
課税に関する条例

(要旨) 地域再生法の一部を改正する法律の施行に伴い、固定資産税の特別措置を拡充するため制定する。企業の新規立地及び投資による雇用の創出を促進するため、本町への本社機能の移転・拡充等を行う事業者に対し課する固定資産税について、課税免除又は不均一課税を適用する。

条例改正

人事委員会勧告に 基づき給料表を改正

職員の給与に関する条例

(要旨) 人事委員会勧告に基づき、若年層に重点を置きつつ給料表を改正する。勤勉手当を1・8月から1・85月とする。

問

(阿部泰蔵議員)

今回の改正により職員全体の給料はどのくらい上がるのか。またどのくらい金額が新たに必要となるのか。

総務課長

職員全体では平均0・1%の改正である。この改正により必要になる額は、給料としては約34万円、賞与等を含めると約260万円となる。

一部事務組合報告

※一部事務組合とは複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

入院患者減少の中 黒字計上

公立藤田病院組合議会

10月26日、第3回議会定例会が開催され、平成29年度の決算認定が審議され、認定されました。

平成29年度決算認定では、入院患者の減少や高額薬品の増加など経営状況が厳しくなる中で職員が一丸となり経営改善に努め、485万円の黒字計上となりました。

ました。

平成28年度決算認定

◆収益的収支決算額

収入 60億6487万円
支出 60億6002万円

◆資本的収支決算額

収入 1億4278万円
支出 5億124万円

(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました。)

(報告者 佐藤定男)

菅野清一氏(川俣町) を副議長に選任

伊達地方消防組合議会

10月25日、第2回議会定例会が開催され、川俣町の菅野清一議員が副議長に選任されました。平成29年度の決算認定、平成30年度補正予算の2件が審議され、どちらも認定可決されました。

平成29年度決算認定

収入 16億3408万円
支出 16億446万円

(報告者 村上正勝)

ごみ処理施設整備 基金積立金などを 増額補正

伊達地方衛生処理
組合議会

10月25日、第3回議会定例会が開催され、平成29年度決算認定、ごみ処理施設整備基金積立金の増額などを含む平成30年度補正予算など6件の議案が審議され、すべて認定可決されました。

平成29年度決算認定

歳入 46億851万円
歳出 45億9692万円

(決算額は一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の合計)

(報告者 浅野富男)

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復興・再生

●除染対策事業

・藤田方部1号仮置き場では全量搬出が完了し、現在大枝方部1号仮置き場からの輸送を開始している。

●風評対策トップセールス、特産品PR事業

・岐阜県池田町「みの池田ふるさと祭」では、モモやぶどう、りんごなどを中心に町農産物のPRを行った。

・特別栽培米としてブランド化を目指す「くにみ米」は、各種イベント会場で試食販売会をするなど一層のPRに努めた。

●観光モニターツアー「くにみしゅらん」

・今年度2回目のツアーを、仙台圏の女性を対象に11月24日、25日に実施した。あんぼ柿体験やりんご狩り、地域の家庭料理でおもてなしを行い交流を深めた。

■安全安心な町政の実現

●災害時における相互応援協力

・11月1日、国土交通省福島河川国道事務所と災害時相互応援協定を締結した。災害時の相互の情報の収集と提供等を行い、防災拠点として道の駅が活用されるなど、町民の安心安全に大きく寄与するものとする。

●鳥獣被害対策

・野生鳥獣侵入防止柵について、今年度は貝田地区から西大枝地区までの区間4.8キロメートルで年内に設置作業が完了する予定で、町内の山際への設置がすべて完了する。

■活力ある町政の実現

●くにみ産業祭

・11月10、11日のくにみ産業祭では、町内の農商工連携による展示販売や各種ステージイベントのほか、北海道ニセコ町、岐阜県池田町、大分県国東市などの交流市町の様々な商品の販売なども行い、来場者から好評をいただいた。

●復興・絆・イルミネーション

・11月23日の点灯式では、道の駅国見あつかしの郷を幻想的に彩り、町民の心と心をつなぐ灯りとなった。

■思いやりのある町政の実現

●子育て支援事業

・道の駅の木育広場「つながる〜む」は、10月14日に5万人を達成した。県内外から多くの親子に来場いただき、今後も子育てのコミュニケーションの場として、子育て支援を継続していきたい。

■町の継続的な維持発展

●歴史を活かしたまちづくり

・9月16日に、国見石を活用した「石工(ロック) フェスin石蔵2018」を郡山女子大との共催で開催し、大谷石の講演会や各種ワークショップ、かまどご飯などのふるまいも行った。

・11月3日、「大木戸歴史むらづくりの会」との共催で「秋の収穫祭」を開催し、むらづくりの会による芋煮

や餅つき大会などが行われ、町ではワークショップや大木戸地区のフィールドワークを実施し、多くの来場者で賑わった。

●東京くにもみ会

・11月17日、町にご縁のある約200名の皆様や国見町応援大使の沢木順さん、木住野佳子さん、歌手の「ふたり」に参加いただき、町の産品を使った料理の提供や、町の特産品の販売なども実施し、有意義な「人との」の交流ができた。

●藤田駅前広場駐車場の整備

・11月8日に、藤田駅前緑地公園の一部敷地を民間駐車場運営会社に貸し出し、設備や運営、管理を民間が行う駐車場がオープンした。

●くにみ農業ビジネス訓練所整備事業

・短期研修、体験研修とも研修計画に基づき順調に進んでいる。また、長期研修生の確保について、11月18日に参観デーとして研修相談会を開催し、鋭意PRに努めている。

●幼少中一貫教育推進事業

・11月1日、くにみ幼稚園の5才児、国見小学校の児童、県北中学校の生徒が一堂に集まり、全員でダンス「USA」を踊り交流を深めた。

・11月27日、「教育フォーラム2018」を開催し、保護者や教職員等が今後の町の教育の充実と活性化についてグループ協議を行った。

●体育事業

・11月30日、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、国見町応援団を結成し、オール国見で機運醸成するとともに、スポーツ、文化・芸術、教育との連携した取り組みを行っていくこととした。

●国見町子ども議会

・10月30日に、役場議場で子ども議会を開催した。国見小学校6年生より議長1名、議員6名を選出し、町執行部に対し、子どもたちが考えた質問や提言を行った。子どもの視点での柔軟な発想による質問や提言は、今後の町政に生かしていきたい。



くにみ産業祭での餅まきのようす